

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



11月のアルミ概況及び12月の見通し(4)

【スクラップ景況予想】

流通在庫はLME価格の安定や年末要因からでてくるのではないかと需要面に関しては足元の生産状況が悪化しているところ。

更に安い輸入塊が入ってきていることや米中貿易戦争から不透明感が強くメーカーの購入意欲は低く、スクラップ販売は当面厳しい。

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争の動向、及び、香港人権・民主主義法案」に署名に関する対抗措置に左右される。

米中貿易協議に関しては中国経済もかなり傷んできており、諸々問題はあつたものの第一段階の合意をするのではないかと？

香港署名の対抗措置に関しては、目新しさがなく本気度も低いのでは？

これらを踏まえた12月のアルミ価格は1,700-1,800ドル。

スクラップ購買価格に関しては0から-5円程度と予測している。

(「11月のアルミ概況及び12月の見通し」終わり)

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>


リョービ

圧力鋳造技術専門見本市

「EUROGUSS 2020 (ユーロガス)」に出展

リョービは、来年1月14日から16日までの3日間、ドイツ・ニュルンベルグで開催される圧力鋳造技術専門見本市「EUROGUSS 2020 (ユーロガス)」に出展する。

EUROGUSS (ユーロガス)は、世界の鋳造業界で最も注目度の高い展示会。材料から加工技術まで鋳造に関するあらゆる分野の企業や団体が出展する。同社は、現在開発中のバッテリーケース、モーターケース、構造部品などの展示説明を行う。また、同社製の部品を組み合わせで作製した実車大ディスプレイ、シリンダーブロックやサブフレームなど高強度・高品質なダイカスト製品も展示する。

開発中製品の提案では、電動車両用部品(バッテリーケースのアルミダイカスト化、モーターケースのW/J部のゼロ抜き勾配、モーターケースの二重構造によるW/J部の成型)、ボディ部品(リアエンドポストのアルミダイカスト化)、シリンダーブロック(ライナーレス化による軽量

化)、製品肉厚の薄肉化による軽量化などを予定。主な展示内容は①ボディ・シャシー部品のアルミダイカスト化②冷却水路のあるインバーターケースや車載充電器ケース③アルミ熱間鍛造によるFCV用高圧水素バルブ④T-SIPによる低圧鋳造の薄肉・軽量化など。



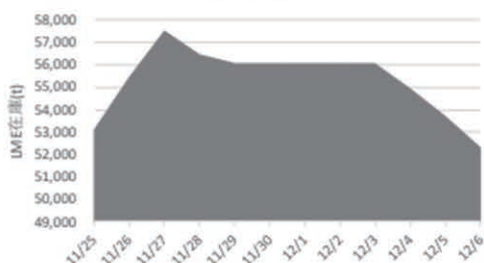
「EUROGUSS 2020 (ユーロガス)」のブースイメージ



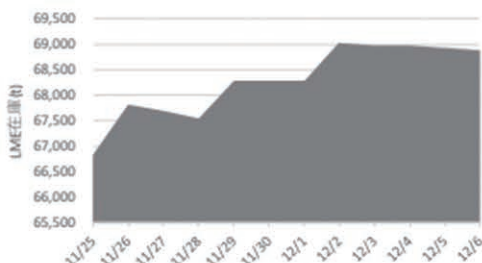
LME認定倉庫在庫量推移

11月25日～12月6日(現地)

北米特殊



ニッケル



日刊金属

定期購読料
(税込)

6ヵ月: 38,880円

12ヵ月: 77,760円